

TOPICS

愛知万博（愛・地球博）で「奈良県の日」が開催される

2005年7月19日（火）、2005年愛知万博「愛・地球博」の公式催事として「奈良県の日」が名古屋市東部丘陵の長久手会場EXPOドームにおいて行われた。会場には一部だけで約3千人が参加。「世界遺産が3つも!!! 新しい奈良」をテーマに、華やかなステージや観光物産展、県内各地の観光案内などで、奈良県の魅力を全国、世界にアピールした。

愛知万博では、会期中の公式催事として全国47都道府県を1県ずつ紹介する「都道府県の日」を設けており、「奈良県の日」が2005年7月19日（火）に行われた。

奈良県は5年後の2010年に平城遷都1300年を迎える。県では奈良県のさまざまな魅力を広く全国・世界に知ってもらおうと、奈良の歴史文化を中心とした魅力について情報発信を行った。

■テーマは「世界遺産が3つも!!!新しい奈良」

奈良県では、1993年に「法隆寺・法起寺」が「法隆寺地域の仏教建造物」として我国で初めてユネスコ世界遺産に登録されたのに続き、98年に「東大寺・春日大社・興福寺」など8資産が「古都奈良の文化財」として登録された。さらに昨年7月には「吉野山・金峯山寺・大峰奥駈道・熊野参詣道小辺路」などが「紀伊山地の霊場と参

詣道」として世界遺産に登録されており、一つの県内に3つの世界遺産を有する唯一の県となっている。

現在、奈良県では、観光による県の活性化を推進しているところであり、世界遺産が3つもある県という点を前面に打ち出して、奈良県の魅力アピールを行った。

■主な開催内容

場所は長久手会場内のEXPOドームで行われた。会場ステージでは、華やかなショーやコンサートが行われ、ドーム出入口のホワイエでは観光物産展やパネル展示などで情報発信が行われた。

○ステージ展開

オープニングの鹿のコスチュームによるラインダンスの後に、柿本善也知事が「3つの世界遺産をはじめさまざまな魅力がある奈良県を全国の皆さんに知ってもらいたい」などとあいさつ。続い



約3千人の参加者があったEXPOドーム（ステージ）

て、奈良の歴史・文化の紹介、New OSK 日本歌劇団による聖徳太子をテーマにしたショートレビュー「聖徳太子絵巻」や五弦琵琶や笙（しょう）などの正倉院所蔵古楽器を復元した「正倉院復元楽器コンサート」などが行われた。

ステージ後方では、幻想的なイメージでセンタースクリーンに奈良のイメージを浮かび上がらせたり、サイドプロジェクターに世界遺産に指定された吉野の山々など奈良の魅力的な風景が映し出された。また、修験者による法螺（ほら）貝の音が会場内に響き渡り、古代へのロマンを沸き立たせていた。

○ハワイエ展開

観客席の入り口部分にあたるハワイエでは、県内各地の観光物産展示即売会が行われ、三輪そうめんや柿の葉ずしなどがまたたく間に売り切れた。

県内各地の魅力を紹介する奈良県地域別コーナー



県内特産品の展示即売会が行われた物販コーナー



地域別コーナー（大和郡山市の金魚すくい）

では、川上村の丸太切り体験や大和郡山市の金魚すくいの出展のほか、明日香村、十津川村、橿原市などがパネル、パンフレット展示などを行った。その他、「平城遷都 1300 年コーナー」「世界遺産コーナー」「奈良の魅力紹介コーナー」などでもパネル展示、50 インチプロジェクターによる観光案内ビデオ放映などが行われた。

■木製ハイブリッドカー「もっくん」

今回の愛知万博のテーマである「自然の叡智」にマッチした展示物として、木製ハイブリッドカー「もっくん」が出展され、多数の親子連れなどの興味を引いた。

「もっくん」は県立吉野高校と県林業研究グループ連絡協議会が協力して作った木製自動車。屋根の上の太陽光パネルによる発電（太陽エネルギー）と後部に積んだ木炭ガス発電装置による発電（木質バイオマスエネルギー）で作られた電気をバッテリーに充電して走る、環境に負荷をかけないハイブリッドのエコカーである。車両重量は約 600 kg、全長：2,850mm、全幅：1,300mm、全高:1,810 mmと、コンパクトなボディで、最高速度は時速 30km/h。車体の大部分には奈良県産のヒノキやスギが使われ、木の良い香りと暖かみを感じられる。

地球温暖化に果たす森林の役割や間伐の必要性、木質バイオマス（森林から生産されるエネルギー資源等）を理解してもらうとともに県産材の需要拡大への象徴的な役割を担って出展された。



木製ハイブリッドカー「もっくん」